

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 12-005

PDCA	事務事業名	観光振興事業	部課等名	市民経済部 観光課 観光担当	担当 内線等	中村 324	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち 節： 第1節 観光・産業の振興 基本施策： 1. 観光 単位施策： (1) 観光資源の活用 個別施策： ①観光資源の充実					
	根拠法令等	—					
	対象・目的	半田市の観光資源である「山車・蔵・南吉・赤レンガ」を活用し、観光振興と地域経済の活性化を図る。					
	目的を達成するための手段・活動内容	・観光イベントへの支援、食の観光の推進、回遊性の向上 ・観光PR各種印刷物の作成、配布 ・蔵のまち見学者用駐車場の確保 ・はんだ市民盆踊り大会実行委員会への補助金交付、運営支援 ・県外における誘客プロモーションの実施 など					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①観光PR印刷物数(種類)	24	24	8	種	
		②駐車場用地の借受	1	1	1	か所	
		③観光イベント開催数	6	5	1	回	
		事業費	32,913	28,430	15,065	千円	
		人件費	16,812	16,115	14,546	千円	
		総事業費	49,725	44,545	29,611	千円	
		活動単位当たりのコスト	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
	①観光客1人当たりに係るコスト	30	27	53	円		
	成 果	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①年間観光入込客数	実績値	1,681	1,669	556	千人
			目標値	1,630	1,700	1,730	
			実績値				
			目標値				
		実績値					
		目標値					
C 課題の整理		観点別評価	必要性	有効性		効率性	
	①市の関与の妥当性		妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある
	②市民ニーズ		高い	⑤成果向上の余地	ある		
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—	
	事業の評価・課題	D					
		新型コロナウイルスの影響により、一部の観光施設は休館し、多くの集客イベントが中止となったことで、年間の観光入込客数は目標値を達成できなかった。食の観光として新たに「尾州早すし」の広報物(チラシ・リーフレット・のぼり・のれん等)を作成し、尾州早すしの認知度を向上させることができた。また、市内飲食店・土産店等をお得に回遊することができる「めぐりんマップ」や「すしぼん」は、コロナ禍においても密を避ける施策として展開した。今後は、このような日常的なにぎわいづくりを推進していく必要がある。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 新型コロナウイルス感染症の影響により、当面は一極集中的な集客イベントは開催できないが、感染症の収束状況を見極めながら、寿司をPRする食の観光や市内飲食店を巡ってもらう取り組み等を進めていく。新たな取り組みとしては、半田市観光協会HP内に食の観光ウェブサイトを構築することや、SNSを活用することでデジタルでのPR等を強化していく。					
	令和3年度の目標	成果指標	目標値		単位		
		①年間観光客数(新型コロナウイルスの影響がない場合)	1,760		千人		